

平成29年版

森林土木木製構造物 施工マニュアル

平成29年版を発行します。

○掲載した工法は192になりました

内 容

森林土木木製構造物設計等指針及び同解説:

木製構造物の範囲／木材の特性／木材の耐久性／
調査の種類／木製構造物の計画／構造物の規模・
設置場所／取扱／地域材・間伐材の利用

施工事例:

治山ダム(木製治山施設、丸太谷止工、木製床固工)／護岸工(木柵護岸工、ウオーターブロック工、ウッドボックス)／水制工(木製沈床工)／流路工(木製流路工)／土留工・擁壁工(木製ブロック積工、木製井桁積工、組ブロック積工、木製土留工)／型枠工(木製型枠工、丸太型枠工、残存型枠工)／水路工(丸太積水路工)／のり面保護工(丸太のり枠工、丸太伏工、竹チップ吹付)／柵工(木柵工、パネル工、丸太柵工)／間伐材二重井桁枠工(土留工、水路工)／筋工(丸太筋工、板筋工、竹筋工)／防風工(防風柵工、防風工、防風垣工)／静砂工・覆砂工(丸太静砂工、丘頭垣工、静砂垣工)／落石工(落石防止工、落石防止緩衝工)／路面・路盤工(木製路面排水工、木製横断工)／路肩・防護柵・視線誘導等(安全柵工、ウッドカーブ、木道)／排水施設工(木製側溝、小径ユニット丸太工、丸太枠水叩工)／木橋工(木製遊歩道橋、木製橋梁工、太鼓橋工)／階段、歩道(ウッドステップ、木道)／標識(案内板、林道標識)

(新たに追加された工事事例)

鉄芯木籠工: 木籠の耐久力及び強度を高めるため部材連結に鉄芯を使用

階段土留め緑化柵工(全天候フォレストベンチ): アンカーと受圧板を設置し、階段状に造成した土砂擁壁で斜面の安定を図る

木製パネル伏: タナリス加圧注入材を使用。板材を使用し、表面に金具を露出させない形状に改良

丸太筋工(A)(2段積)・丸太筋工(B)(3段積): 杭を使用せず、控木を組み合わせることで構造物を安定(2段、3段)

別紙書籍注文書によりFaxでご注文ください!

Fax番号03-3581-1410

一般社団法人 日本治山治水協会/日本林道協会

東京都千代田区永田町2-4-3 TEL03-3581-2288/Fax03-3581-1410